

## 平成 26 年度 第 2 回 磐田市遠江国分寺跡整備委員会 議事要録

1. 日時 平成 27 年 3 月 12 日 (木) 15:00 ~ 16:50
2. 場所 磐田市役所西庁舎 3 階 310・302 会議室
3. 出席者 整備委員：11 名  
上原真人委員長、山下晃副委員長、石上英一委員、平野吾郎委員、  
中島義晴委員、寺田辰蔵委員、高田正人委員、澤元教哲委員  
小杉達委員、水野勲委員、鈴木誠委員 (箱崎和久委員は欠席)
- 助 言：静岡県教育委員会文化財保護課 日吉淳指導主事  
事 務 局：飯田教育長、鈴木教育部長、文化財課 = 大箸課長、村松課長補佐  
竹内グループ長、安藤主査、室内主任  
傍 聴 者：なし

### 4. 会議要旨

#### 開会

- (1) 磐田市教育長あいさつ
- (2) 静岡県教育委員会あいさつ
- (3) 整備委員会委員長あいさつ
- (4) 議 事

#### 〔1〕 平成 26 年度事業報告について (一部パワーポイントを用いて事務局で説明)

##### 発掘調査及び整理作業

- ・ 7 月 22 日から 10 月 21 日まで、僧房跡・講堂跡・南大門跡等、41 m<sup>2</sup>の補足調査を実施。
- ・ 現地調査は 26 年度で終了。
- ・ 現地説明会を 9 月 21 日 (日) に実施、130 名が参加。
- ・ 「発掘調査のあらまし」を印刷・配布 (国庫補助事業分 300 部、一般配布用 2,000 部)
- ・ 27 年度の報告書刊行に向けて、一部業者委託を含めて整理作業を実施。
- ・ 金堂跡から出土した「木装基壇」の部材 5 点の保存処理を実施。

##### その他

- ・ 新中学 1 年生用及び教員用に、社会科副読本『遠江国分寺』を印刷して 4 月に配布。
- ・ 整備の方向性 (整備基本計画) について、前回の委員会の資料を修正し、イメージ画を添付。また、整備の概算費用について積算
- ・ 「国分寺まつり」のようすや、夏の企画展で国分寺跡の発掘調査の展示について報告

(特に質疑なし)

#### 〔2〕 遠江国分寺にかかわる史料について (事務局で説明し、石上委員が解説)

- ・ 平成 16 年発行の歴史研究雑誌に平安時代の遠江国分寺・講堂の修理に関する史料 (江戸時代に写されたもの) が紹介されているのがわかった。
- ・ この史料には、講堂の大きさや間取り、講堂にあった仏像 (阿弥陀仏ほか) 1022 年の大風

や講堂の破損の状況、当時の遠江国の経済状況や復旧にあたっての要望などが記録されている。

<質疑応答、意見>

委員 金堂にあった仏像は釈迦か？

委員 奈良時代は一応御釈迦三尊像を造ったことになっている。

委員 金堂が819年に焼けて200年くらい経ったころのこの史料では阿弥陀信仰になっている。中世になると薬師信仰が中心になってくるのかなと感じる。

〔3〕 整備基本計画案について（一部パワーポイントを用いて事務局で説明）

- ・都合により、整備関連の視察報告を先に行った。

関連視察報告1（京都府向日市の長岡宮跡）

- ・ARを使っている先進地として、京都府の向日市にある長岡宮跡の状況を紹介
- ・この現場に行き、スマホやタブレットをかざすと画面に当時の建物などの画像が現れる。
- ・ARは、今の風景の写真に当時の建物などのCGを組み込んだもの、VR（バーチャルリアリティ）は現場にスマホをかざすとその当時ようすが全部CGで現れるもの。
- ・長岡宮跡では、ガイダンス施設に人がいて、タブレットの貸し出しを行っている。
- ・ARの作製費用は、1,500万円。

関連視察報告2（神奈川県鎌倉市の永福寺跡）

- ・中世の寺院跡で、3つの建物の基壇が木装基壇であることがわかっている。
- ・木装基壇の整備事例として写真を紹介。
- ・整備には擬木ではなく、ヒノキの実物を用いている。
- ・整備費用は基壇3つで、4,500万円とのこと。

整備基本計画案について

前回の委員会で提示した整備基本計画素案を修正・追加し、イメージ画を添付したものについて説明

『遠江国分寺跡整備基本計画（仮）私たちの国分寺公園』

- 第1章 基本計画の策定にあたって
- 第2章 遠江国分寺をめぐる環境
- 第3章 遠江国分寺に関する調査研究
- 第4章 過去の整備と現況（追加）
- 第5章 特別史跡指定地内の調査結果の概要
- 第6章 全体計画
- 第7章 再整備の概要
- 第8章 年次計画と事業予算（追加）

第7章 再整備の概要

## 第1節 遺構整備

- ・南大門や中門を除く主要伽藍について、遠江国分寺の特徴である木装基壇を復元し、燈籠及び築地塀の一部について復元を行う。
- ・木装基壇については、ヒノキ風の擬板材を使用し、この板材を丸柱で土留めする。
- ・最上段は柱の上部が露出するため、化粧板により目隠しする。

### (1) 塔

- ・基壇を3m大きくし、一辺1.8mとする。
- ・失われている礎石を復元し、化粧板の内側に磚を敷き並べる。
- ・木製風階段を復元する。

### (2) 金堂

- ・基壇の規模を修正する。
- ・建物範囲と須弥壇推定地に磚を敷く。
- ・南側に石段を復元する。

### (3) 講堂

- ・基壇の位置や大きさが違っているため修正する。
- ・史料でわかる建物の規模を磚(せん=レンガ状の焼物)を敷いて表示する。

### (4) 僧房

- ・新たに発見された遺構であるため、新たに遺構表示を行う。

### (5) 回廊

- ・ツゲを除去し、基壇を復元する。
- ・複廊と考えられることから、建物範囲とセンターラインに磚を敷く。

### (6) 燈籠

- ・柱の直径50cm、高さ2mの燈籠を復元する。

### (7) 築地塀

- ・長さ6mの土塀を復元し、屋根瓦を載せる。
- ・管理用車両の出入口を設ける。

### (8) 中門・南大門

- ・木装基壇であるという確証が得られないため、土壇により基壇を表示する。

### (9) 樹木整理

- ・遺構に影響をおよぼしている樹木はすべて伐採する。
- ・景観上の障害となっている樹木等についても、できる限り伐採を検討する。

## 第2節 便益施設

### (1) トイレ兼展示スペース

- ・南東隅に、展示スペースを兼ねたトイレ(80㎡程度)を設置する。
- ・旧収蔵庫は速やかに撤去する。

### (2) 四阿(あずまや)

- ・切妻風の四阿を2か所設置する。

## 第3節 公園整備

(1) 園路整備

- ・南大門から僧房に至る中軸戦沿いに歩くルートについて、幅3m程度の土系舗装材による園路を整備する。
- ・伽藍地外縁部にかけて幅3m程度の脱色アスファルト舗装による管理用道路を整備する。

(2) 排水路整備

- ・排水不良を改善するため、現在の排水路のルートを生かした排水路を暗渠で整備する。

(3) その他

- ・ベンチのほか、ガス灯風の街灯6基を設置する。
- ・一部を花壇とする。
- ・遺構表示や園路にかかわらない部分は、原則として芝貼りとする。

#### 第4節 ソフト整備

(1) 看板整備

- ・公園入口に大型の看板(説明板)、各遺構について個別の説明板を設置する。

(2) AR事業

- ・スマートフォンやタブレット端末を利用して、塔や金堂などの建物のCG画像を現地にある基壇と組み合わせて画面上に上映する。

(3) パンフレットほか

- ・公園のパンフレットをリニューアルする。
- ・国分寺跡からの出土遺物について、一括収納ができるように埋蔵文化財センターの改修を行う。

#### 第5節 整備と活用

- ・整備中、塙の焼成や寄付、築地塙の復元にあたって、市民参加のイベントを行う。
- ・国分寺を専門に担当するボランティアを創設して、案内を依頼する。

#### <質疑応答、意見>

**委員** 基壇が立ち上がってしまうと車いすの人が入る余地が全然なくなってしまう。  
**県** 遺構としての復元の部分と、あと誰が見ても後から付けたものだになってしまうような形でスロープを付ければ、誤解を与えずに尚且つ車いすで上がれるとかいう対応は取れる。

**委員** 幢竿支柱(どうかんしちゅう)が見つかる場所があるが。  
**事務局** 住宅の建築に伴って調査したところで、幢竿の遺構は保護されている。今後、追加指定の同意が得られれば公有地化は可能である。

**委員** 展示スペースは、案内人がここに1日いることはあるか？  
**事務局** 基本的には無人で、例えばイベント時にボランティアにいてもらう、ということはある。

**委員** タブレット端末の貸し出しは可能なのか？

**事務局** 平日は市役所での貸し出しができる。

**委員** ARは高齢者や子どもには難しいと思っていたが、わかりやすいと感じた。

- 委員** 緑の地のところは現実（奈良時代）はどうだったのか？
- 事務局** 少なくとも遺構（建物）の周辺は草はほとんどなかったと思われる。
- 委員** 木はあったのか？
- 事務局** 少なくとも遺構の周辺には木はまったくなかったと思われる。
- 委員** （国分寺に木は）ない。
- 委員** 塔跡に生えている木はどうするのか？
- 事務局** 遺構に影響を与えている木は伐採せざるをえない。
- 委員** 梅林はどうするのか？
- 事務局** 南側からの眺望が重要といわれているので、整理したいと考えている。
- 委員** 回廊の中も芝貼りになっているが、回廊内は神聖な場所といわれているので、砂利敷等、まわりと区別したほうがよいと思う。
- 委員** 木装基壇がこれだけの規模で整備されるのは、全国の史跡の中で非常に目立つ重要な復元となる。
- 委員** 鎌倉の永福寺は本物のヒノキを使うということだが、メンテナンスのことは考えているのかわかるか？
- 委員** 確認していない。これまでのこの委員会の議論では、実物を用いるのはナンセンスということだったので、今回の案も擬木で考えている。
- 委員** 古い登呂の整備では、（水田の）杭に薬を塗って20年もつといわれた。20年もつなら、それでもよいかと思う。
- 委員** 機会があれば、委員が永福寺を見て、予算的なことも考慮して判断するのがよいと思う。
- 委員** 永福寺は基壇3つで4,500万円ということだが、こちらのほうがだいぶ永福寺より木装基壇の範囲が広い。実際の擬木も見て考えましょう。
- 委員** お寺の正面にトイレがあるのは気になる。東側に掘立柱風のトイレを設けたほうがよいのでは。
- 委員** 展示があるなら、北を向いていたほうがよい。
- 委員** トイレは、時代にあった雰囲気のものにしてほしい。
- 委員** 真南から入ってまっすぐ金堂まで行く導線のほうが整備しやすいのではないか。
- 委員** 奈良や京都に行っても駐車場はそう大きくない。国分寺跡として整備すべきところを先に整備したほうがよい。
- 事務局** ご意見を元に修正して、改めて計画案を提示したい。